



東六番丁小学校

明治6年開校 創立150周年

思 いやりのある子ども

考 える子ども

き たえる子ども



鳩原淳子校長



湯目研一郎PTA会長

本校は明治6年（1873年）8月18日に万日堂（現宮町5丁目）を仮校舎にして開校しました。学区は歴史と伝統のある地域で住民の連帯意識は高く、多彩な地域活動を展開しています。

東六小のシンボル【エドヒガンザクラ】

樹齢380年余と推定される桜。昭和50年6月仙台市の保存樹木に指定されました。

昭和23年に制定された校章もこの桜をデザインしたものです。

春には地域の方と桜を愛でる会が開催されました。

学校支援地域本部 「お母さん先生」

【学校支援地域本部の概要】

「地域とともに歩む学校づくり」を進める取り組みです。学校の求めに応じてスーパーバイザーや地域コーディネーターが地域住民や保護者のボランティアを募ります。地域ぐるみで児童生徒の成長を支えています。東六小支援本部は平成20年に仙台市で最初に設置された本部の一つで、今年16年目となりました。

【活動内容】

小1生活学習サポーター、朝の読み聞かせ、ミシン、校外学習付き添い、スポーツ、茶道クラブ、学習サポート、総合学習のゲストなど多岐にわたっています。特に小1サポーターは「お母さん先生」と呼ばれ、先生でも親でもないフラットな目線で温かく子供たちに接していて、10年も続けてくださっている方もいます。

「できる時に、できる人が、できる事を」



学習サポート



配膳のサポート



茶道クラブ